

会 議 名 (審議会等名)	第9回川西市幼児教育問題審議会		
事 務 局 (担 当 課)	教育委員会教育振興部学校教育室学務課 (内線3381)		
開 催 日 時	平成21年10月19日(月)午後3時00分～午後6時00分		
開 催 場 所	川西市役所4階 庁議室		
出 席 者	委 員	ト田真一郎、玉置哲淳、橋本祐子、林良明、石村万寿美、柴田順子、穂積富美子、和田和代、下仲芳治	
	そ の 他	意見陳述者2名	
	事 務 局	牛尾教育振興部長、中塚総務調整室長、仲学校教育室長、仲岡教育振興部参事、尾辻学務課長補佐、廣田学務課主査、尾屋学務課主任	
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	9人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1 議 事 (1) 諮問事項に係る審議について ・公立幼稚園の適正な運営のための活性化策について (2) その他		
会 議 結 果	審議中(審議経過のとおり)		

審 議 経 過

No. 1

<p>会 長</p>	<p>前回は突然の体調不良により欠席しまして、申し訳ありませんでした。また副会長には急遽代理をお願いしまして、お礼を申し上げます。</p>
<p>意見陳述人</p>	<p>それでは早速ですが、前々回の審議会で、川西の幼児教育のあり方、活性化のあり方について、意見陳述をしたいという方があるということで、本日直接お聞きしようということになっていました。委員の皆さんにお諮りします。意見陳述をお願いしようと思いますが、よろしいでしょうか。(反対意見なし) それではよろしく申し上げます。</p>
<p>会 長</p>	<p>本日は発言の機会をいただき、ありがとうございます。発言させていただくにあたり、資料を用意してきましたので、差し支えがなければお配りしたいのですが。</p>
<p>意見陳述人</p>	<p>資料があるほうが分かり易いと思いますので、お配りいただこうと思いますが、いかがでしょうか。(反対意見なし) それでは事務局の方で配布お願いします。</p>
<p>意見陳述人</p>	<p>昨年度、前会長から提出しました、公立幼稚園における3年保育実施への要望書を受けて、今回、私達保護者の声をお聞きいただける機会をお作りいただき、ありがとうございます。広く色々な方からの生の声を聞きたいと思い、川西市立幼稚園10園のPTA会長の集まり、川西市立幼稚園PTA連絡協議会で、保護者の意見を出し合いまとめてきました。保護者として感じていることをお話しします。</p> <p>3年保育は多くの幼児教育の現場で必要であると認識されています。少子化や核家族化が進むにつれ、兄弟も少なくなり、周囲にも子ども達の姿が減ってきている現状では、同年代の子ども達の関わりが持ちにくくなっています。3歳頃になり、子どもが母親以外の同じ様な年頃の子ども達に関心を向け始めたので、お友達を作りたいと思って公園に行っても、子どもの姿が見あらず、困ってしまうことがよくあります。友達を求め集団での生活を経験させたいと考える保護者も多くいます。公立幼稚園には経済的負担が少なく、誰もが安心して受け入れてもらえるという良さがあります。川西市ではここ数年、特別支援が必要な子どもを含め、希望者が全員入園できる体制をとられています。他市では年少児の受け入れに枠を設けているところもある中、とてもありがたいことだと思っています。また、保護者と一緒に歩いて通うことで、保護者の間にも子どもを通じて親密な繋がりができ、降園時間後や園庭開放時に保護者同士で、また先生も含めて話す機会も多く、小学校入学後も続くような繋がりを作ることができて、親として安心して子育てができます。園庭解放では親子で竹馬や一輪車に挑戦したり、友達の挑戦を見守ったりと、親も子どもみんなで楽しむことが出来ています。日々のおしゃべりの中での情報交換は、私にとって大切で、子育てに関して、例えば小児科ならこの先生が優しく、よく話を聞いてくれる等、保護者として知りたい情報をリアルタイムで得ることが出来ます。日頃、困ったり気になったりするちょっとしたことでも、日々顔を合わせる中で、保護者同士や先生に気軽に相談することが出来ます。また、校区ごとに色々な面から子どもの育ちを考えてくださっていて、幼小中の連携がとられているのは、公立</p>

ならではだと思えます。季節の行事では、地域の方に協力していただいたりするので、地域との結びつきも強く、地域全体で子ども達を守り育てるという良い風土が根付いています。登園、降園の時も、道端で近所の方が気軽に声を掛けてくださり、皆さんに見守られているんだと、ありがたく思うことがよくあります。小学校にあがってからの通学のことを考えたとき、地域の皆さんに見守られながら、親子で通い慣れた道を歩いて行くのだと思うと、とても安心します。また、子どもと手を繋いでお話ししながらの送迎の時間は、私にとって本当に貴重な時間です。日中どんなに忙しくても、子どもとゆっくりと話すことが出来るからです。景色を見ながら季節の移り変わりを感じ、ゆっくりと歩きながら子どもの話を聞いていると、ふとしたことで子どもの成長を感じる瞬間があったり、クラスの様子を話す声のトーンから、子どもの気持ちを掴むことが出来たりします。子どもが空き地の花や虫に興味を持ち、目を輝かせている顔を見ている時など、親として子育ての幸せを感じる事が出来る一時です。毎日歩いて通園していることで、段々体力がついてきたなと思うことがあります。年少で幼稚園に通い始めた頃は歩くスピードも遅く、途中で疲れたとか荷物が重いとかよく言っていましたが、年長の最近では歩く足取りも軽く、しっかりとしてきて、随分たくましくなりました。保育内容においても、園庭で毎日泥だらけになって遊び込むことで、忍耐強く物事に取り組む力や、何事にも挑戦してみようという意欲が自然と身に付き、小学校生活への力や自信が蓄えられていると思えます。遊びを通して、実体験も通して、色々な力を身に付けることが出来ているのではと思います。目に見えてこれが出来る、あれが出来るという結果重視ではなく、これからの生活について長い目で考えたときに、幼稚園時代に蓄えられるこの力は、本当に大事なものだとして感じています。公立幼稚園は「後伸び保育」と先生からお聞きしたり、卒園された子どもの保護者からもお聞きします。結果重視ではなく、一日一日の成長や学びの過程を大事にしてくれている様子や、自分らしく伸び伸びとしている様子を毎日の送迎の時や、公立幼稚園は歩いて通える距離に園があるということで、何気なく園を覗いた時などに感じる事ができ、親として本当に嬉しく思います。川西市の公立幼稚園で平成20年7月、平成21年1月から2月に、公立幼稚園における3年保育実施希望のアンケートをとったところ、全体の70パーセント近くの方が、地域によっては100パーセントの方が3年保育を希望されているという結果が出ました。この結果を受けて、公立幼稚園においての3年保育早期実現を目指して、昨年度署名運動を立ち上げるに至りました。公立幼稚園における3年保育モデル園実施の署名活動を実施したところ、平成20年度は公立幼稚園で、在園児と就園前幼児の保護者にご協力いただき、4,250名、平成21年度は小中学校PTAや地域の方にも協力いただき、1,1690名の多くの署名が集まり、市長様、教育長様へ提出させていただきました。その他に新たにある地域の方からも、公立幼稚園における3年保育実現のための協力の声が上がっています。平成11年度から川西市へ、川西市立

幼稚園PTA連絡協議会としても、3年保育モデル園の実現を要望しています。子どもに3年保育を受けさせたいと考えたとき、私立幼稚園には3年保育がありますが、現在公立幼稚園には2年保育しかありません。3年保育は誘致の関係で私立幼稚園に委ねると、市長様、教育長様からお聞きしています。同じ市民に幅広い選択肢を提供していただくという意味で、公立幼稚園にも3年保育は必要だと思います。また、経済的にゆとりがないという理由で、3年保育を受けたくても受けられない子どもがいるという現状から考えても、市として、川西市民の幼児教育についてのニーズに応えていただくという意味で、公立幼稚園における3年保育実施を望みます。3年保育は私立幼稚園に委ねると言われても、南部地区には私立幼稚園がありません。3年保育を受けるには、伊丹市や宝塚市など、市外の幼稚園に行くしかないという現状です。川西市の公立小中学校の義務教育に向けての大事なこの時期、私達の大切な子ども達、未来ある川西の子ども達の幼児教育を他市に任せてしまってよいのでしょうか。同じ市の同じ年代の子ども達が、全く違う環境に置かれている今の状況について考えたとき、まだ先の話ではありますが、小学校での集団生活のスタートがうまく出来るのかと心配になります。長い目で子ども達の育ちを考えたとき、やはり義務教育やその後の人格形成の基礎を作る大事なこの時期に、市内で幼児教育を受けることが出来るよう、南部地区での公立幼稚園3年保育モデル園設置について、今一度ご検討いただけたらと強く思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

意見陳述人

南部地区の保護者の声として発言させていただきます。

久代幼稚園、加茂幼稚園、ふたば幼稚園がある私達の南部地区には、私立幼稚園がありません。南部地区の私達が3年保育を受けるには、宝塚市や伊丹市、池田市等の他市へ行くしかありません。誰もが受け入れられ、歩いて通える地域の公立幼稚園に3歳から通わせることが出来ると、保護者として安心して子育てが出来ると思います。久代幼稚園、加茂幼稚園、ふたば幼稚園は、それぞれ良いところがたくさんあり、とても魅力のある幼稚園です。保育に熱心な保護者と、それに十分応えてくださる先生とのコミュニケーションの連携がうまく機能していて、調和がとれています。先生は毎朝門の所に立ち、一人一人の目を見て挨拶し、手を握って体調を見ながら迎え入れてくれるので、親は手から手へ安心して子どもを託すことが出来ますし、朝の子ども達の体調を直接伝えることが出来ます。また降園時は、毎日その日にした事や子ども達の様子の報告を直接受け、保育中に気になった事などは、先生から個別にその場で話を伺うことが出来ます。子どもに関する些細な心配事も、気軽に尋ねることが出来る雰囲気作りをして下さっています。また子ども達は、大好きな外遊びを思う存分に楽しむことが出来ます。自転車やスケーターなどでも走り回って遊んでいます。コマなし自転車の練習をして、乗れるようになった子どももたくさんいます。また園庭の畑に野菜を育てて、子どもと先生で水やりや草引きなどをして世話をし、収穫を喜び、収穫できた野菜で料理をしてみんな

	<p>でいただいています。子どもの食育にも繋がり、とても良い経験をさせてもらい、親としても嬉しく思っています。また園を取り巻く環境は、自然に囲まれとても良い環境です。先生の目が行き届いた温かい保育により、子ども達は伸び伸びと毎日を過ごしています。運動会で年長児全員が竹馬に挑戦し、竹馬行進をした園もあります。何ヶ月も保護者、先生と練習し、友達同士で励まし合い、乗れるようになりました。お互いに手伝ったりしながら、障害を持つ子どもも乗れるようになり、見に来られた地域の方からもたくさんの拍手をいただき、温かい感動に包まれました。地域の中に、児童センターがある園もあります。児童センターやコミュニティや園では、就園前から様々な子育て支援のプログラムが企画されており、それらに参加して友達の輪を広げたり、情報交換に努めていますが、3歳児になると経済的にゆとりのある家庭は3年保育に進まれ、公立の2年保育へ進む私達は、あと1年待たなければならず、不安と焦りの中、無料で参加できる市の子育て支援プログラムを求めて、奔走しているのが南部地区の現状です。南部地区に3年保育のモデル園を求める署名においては、久代小学校区、加茂小学校区において、コミュニティを含むたくさんの地域の方が協力してくださりました。また3年保育モデル園設置の応援もたくさんいただいています。南部地区の幼稚園の現状や、それぞれの特色を知ったうえで、3年保育モデル園設置を私学の無い南部地区に是非お願いいたします。</p>
意見陳述者	<p>最後に、お配りしました資料にあります、公立幼稚園における3年保育実施への要望を平成20年9月に、審議会会長様に提出させていただきました内容や、南部地区に3年保育モデル園設置を求める署名を市長様、教育長様に提出させていただきましたことについて、書面にてご回答いただきたいと、強く思っています。本日はありがとうございました。</p>
会 長	<p>特に委員の方から、ご発言についてのご質問やご意見はありますか。 (発言なし) ご意見ありがとうございました。審議会として意見をいただいたことを重く受け止め、審議を行いたいと思います。 それでは審議に入りたいと思います。前々回、6つの点について、活性化の方向としてのご意見があったということでまとめました。そういうことで前回の審議会では、主に6点のうち3つについて審議が行われました。本日の議論の出発点の一つとして、前回の議論のまとめをして、それを踏まえて審議を行いたいと思います。</p>
副会長	<p>前回のとりまとめを副会長から、簡単をお願いしたいと思います。 まず地域との連携に関しては、幼稚園と家庭との連携を基本としつつ、公立幼稚園としてより広い地域に開かれた取り組みが必要であるという意見がありました。地域に還元する役割があるという意見が出されました。その中で、保護者や地域の方にとどのようなレベルで、どのような形で参画していただくかについては課題であり、検討をもとにし</p>

	<p>たシステム作りが必要ではないかという意見がありました。</p> <p>次に預かり保育についてですが、これに関しては反対意見はなく、むしろ進めていく方向でどうかという意見がいくつかありました。細かなアイデアと言いますか、1点目の地域との連携と絡めて、地域の方との繋がりの中で、預かり保育を実施するというものもあるのではないかという意見もありました。</p> <p>3歳児保育についての意見も出されましたが、3歳児保育は保護者のニーズとして確かにあるので、是非実現して欲しいという意見がありました。また公立幼稚園の活性化を考えるうえで、なぜ3歳児保育なのかという議論を詰める必要があるという意見もありました。3歳児保育についての議論が出る中で、6点の中でも特に現在の制度を変更する必要があり、各幼稚園、園長会のレベルで実現できるものではないので、審議会の答申としてどの様に出していくのかを更に検討する必要があるという意見がありました。</p>
<p>会 長</p>	<p>会議録を読みましたが、概ねそういうところだと思います。特にご発言のある方はお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>冒頭に会長が仰ったことについてお尋ねします。前々回の審議会で会長がまとめていただいたのが、3年保育、預かり保育、地域との連携、募集のあり方、現在の制度を変えた幼稚園型の認定子ども園も含めて、5点であったと理解していましたが、前回の審議会ではそれが6点になっていました。1点増えたことについて、経過というか理由をお教えいただければと思います。</p>
<p>会 長</p>	<p>活性化として5点について申し上げましたが、6点目は既に中間報告を出していますので、それに伴う議論という認識で、それも含めて6点としました。幼稚園がどういう条件が望ましいのかということについて、決めました。従ってそれに伴う統廃合は当然考えられますが、それについては私共が、この幼稚園について統廃合しますとか、しませんとか、それは審議会の任ではありませんので、私はこれでいいのかなと思っています。ただ審議会として活性化の議論をする際に、統廃合に伴う様々な問題について、予想される問題については、審議した方がいいのかなという思いで6点目をあげました。特別に付け加えたという意識はありません。</p> <p>それでは、活性化の中身について整理をしたいと思います。最初に申し上げたいのは、特に6点だけに絞ったわけではありませんし、6点について必ずこういう風にしますということでもありません。その6点について、これから審議するという認識で結構かと思います。前々回、6点についてご要望ご意見を出していただいたうえで、副会長から言っていただきました、前回の地域との連携、預かり保育、3歳児保育について、各々の議論を進めましょうということです。私としては、本日の審議で次の点を念頭において考えています。前々回に繰り返し申し上げましたが、本日、活性化についての議論をする大前提をお互いに確認しておいた方がいいのかなと思っています。活性化の議論が、川西市の幼稚園教育の良き方向、とりわけ子どもや親にとって、プラスになるような議</p>

論をとりまとめたいと思います。それは、個別に色々なご意見や考え方があると思いますが、本審議会の目的は、公立幼稚園の活性化についてどうあるべきかということを議論するわけですので、それ以外の議論を委託されていませんので、公立幼稚園の活性化には何が必要かという観点で、望ましい方向を打ち出してはどうかと思っています。その際に、私個人の意見として、二つの事を念頭においていただければと、これまでの審議を念頭において、考えています。一つは、川西の幼稚園教育の前進のために、焦点を当てるところを明確にして、改革、活性化の議論をする必要があるという事です。そういう点では、特に私学の委員からもご指摘があったと思いますが、それも念頭において保幼小、小学校との連携について、具体的に打ち出すものがないのかなど。もう1点は、親、子ども、あるいは保育者が強く求められている根底に、幼児が人として育つということがあると思っています。活性化の理念と言いますか、考え方、方向、そういうものも議論してはどうかと思っています。その際に、今の公立幼稚園の中身が駄目だと言っているわけではなくて、活性化の議論は、更に前進するために何をすべきかというのが議論です。現在のままでいいんだとすれば、活性化については何も意見はありませんというのが、審議会の結論になります。そういう点では、私立幼稚園の委員を始めとして保育所の委員、小学校の委員、大変熱心に、活性化のためにこうあるべきだというご意見をいただいていると思います。そういう点で、是非誤解のないようにお願いしたいのは、積極的なご意見を公立幼稚園に対する批判であると受け止めると、審議は止まってしまう可能性があるので、積極的に受け止めてどの様に活性化すればよいのか、前向きに受け止めていただきたいと思います。他の委員も発言の際に、そういう思いを明確にしながら、審議をしていただきたいと思います。その為に活性化の一つの理念として、今2点申し上げましたが、そういうものも参考にさせていただきたいと思います。

その上にたって、6つの点について皆さんにお諮りしたいと思います。前回、前々回の経過を見たところ、まず1点目の3歳児保育については、この審議会としてやるべきではないという意見は無かったと思っています。ただし、先程の意見陳述の中で指摘もありましたし、これまでの審議会で、川西として3歳児保育を巡って、私学に苦勞をかけてきたという経緯がある様に思っています。そのことを考慮しつつ、私学の3歳児保育、あるいは私学全体の幼稚園教育が審議会としては前進するようなことも考慮しつつ、3歳児保育を何らかの意味で、限定的でもやるという方向が、活性化の一つの方向として考えられるのではないかと考えています。ただしこの点については、私学の委員のご意見もよく聞いたうえで、お互いの利害を主張し合うということではなくて、子どもにとってより良い成長を川西としてはどうあるべきかということについて、是非積極的なご議論をお願いしたいと思います。

それから2点目の預かり保育については、特に反対が無かったと思います。ただ少なくとも私の見識によれば、なかなか簡単ではないと思っています。何が簡単ではないかと

言いますと、文部科学省の通達等においても指摘されていますが、預かり保育は幼稚園教育の一環として行うのかどうかということです。私個人の意見としては、預かり保育という名前が気に入っていません。幼稚園教育は4時間を基本とした幼稚園教育を行うと、それにプラスアルファで預かり保育をやりますというスタンスで、そもそもいいのかどうか。大阪市の例で言えば、それだけでは駄目だということで、教育の側面も加味して預かり保育を行うということで運営しています。具体的に何をしているのかというと、保育する人を別に雇用して、その保育の有り様を園長または園として、サポートし発展させていくということで、折り合っているわけです。原理的には幼稚園教育の延長としてシンプルに考えれば一番良いのですが、その辺が公立幼稚園の色々な論理があると思います。その辺について、どういう形でやればいいのか、皆様のご意見をお聞きしたいと思います。

3点目の地域との連携ですが、地域や親が主体となる幼稚園教育というのが、世界の中でも目指されています。その一番典型は、アメリカのレッジョ・エミリアの運動でして、親と幼稚園と一緒に共に育つ、育てるという観点で取り組まれています。むしろ川西市の特色を出すということで考えれば、細かい点について詰めなければいけない問題がありますが、新たな地域との連携のあり方、単に幼稚園で考えている事を親に伝える、了解するという一方通行ではなくて、双方向的な、もっと言えば両方が主体となるような幼稚園教育のあり方を目指すということは、色々な困難も伴いますが、必要なことだと思っています。そういう点で、とりわけ公立幼稚園の委員に議論をお願いしたいのですが、思いを形にしていくときに、当然何らかの制度設計をそこで考えるということがあると思います。学校では学校評議会的なものが作られていると思います。幼稚園の場合、現状はどうなっているのか、公立の活性化と言ったときに、地域の親、あるいは地域としての意見を幼稚園に直接伝えるだけではなくて、共に決めていくということが、制度として必要だと思います。そういう点では幼稚園評議会というような大胆な取り組みを活性化の中で考えてはどうかと思っています。

4点目の園児募集のあり方というのは、かなりテクニカルな問題ですので、前回議論されたことを踏まえて、色々なことの配慮もあると思いますが、ごく普通に園児募集が保護者に伝わり、適切な形で展開されるということが必要だと思います。

5点目の認定型の幼稚園云々ということですが、我々が決めた幼稚園規模のあり方、クラス規模のあり方について考えますと、場合によれば統廃合もあり得ると思います。その際に、単に廃園しますというご意見には私は反対です。川西市が統廃合をする際に、積極的にそれを市民のニーズに合う形で再編するという方向が、5点目の議論としては必要だということです。その一つの方策として、幼稚園型の認定子ども園ということも考えられるのではないかと。つまり待機児童がいると、これは保育所、保育行政との関係が若干ありますが、文部科学省、厚生労働省ともそういうことを考えてはどうかとい

うことで、厚生労働省が思っているほど広がっていないようですが、単に統廃合、廃園をすることではなく、積極的に活用していくということです。

最後に6点目です。先程の5点目ともかぶりますが、最終的には教育委員会、あるいは教育行政にお任せざるを得ませんが、市民のニーズに合った形で、統廃合をする以上、その積極的な活性化をどのように図るかということについて、お考えいただければと思っています。

7点目といってもいいんですが、6点目と関わって、特に留意していただければと思っていますのは、私学の委員から繰り返し審議会でご指摘のあった、公立幼稚園の経営努力ということについてです。これは6点目の活性化の中に入れるのかどうか若干疑問はありますが、流れで言えば6点目の一環として、これまでの公立幼稚園が駄目だと、経営努力をしていないということをお願いしたいのではなくて、私学の委員からご指摘があったことは、私学は私学なりの経営努力を行っている。そのことも念頭において、その精神を公立も負うべきではないかというご指摘かと思えます。具体的な内容については、ああしろ、こうしろと仰ったわけではないと思っていますので、そういう気持ちを細かいところも含めて、考えていくべきだと思います。例えば、公立幼稚園がぱっと外から見ると幼稚園だと分かる建物になっているのかとか、建物一つとってみても、幼稚園らしくするために、別にお金を掛ければよいということではありませんが、これまでも工夫されていると思いますが、更に活性化に関わって、そういう議論もあっていいと思います。もちろんお金があれば、こういうことが出来るんだという議論もありますが。何が出来て、何が出来ないのかということもあると思います。本審議会としては、大きな意味で公立幼稚園が活性化するための諸条件や、一つのスローガンとして、小学校では既にやっておられると聞いていますが、特色ある学校教育ということで、各学校でこういうことをやっていますよと、広報紙で色々な宣伝をしておられるそうです。幼稚園はどうですかとお聞きしますと、幼稚園は入っていないそうです。その辺は経緯もあるかも知れませんが、例えばこういったことを市民に発信して、うちの幼稚園はこういうことをしていますよというの、経営努力の一つかなと。

そういうことで、6点目の活性化のところ、いくつか付け足しているような感じもあるかもしれませんが、そういうことも含めて、次回が最後となりますので、本日大きなところで取りまとめをして、次回細部について詰めるということになるかと思えますので、ご意見を言っていただければと思います。

そのために、会長としてのとりまとめをもう一度申し上げますと、これまでの審議を考慮して、6点について今申し上げた論点がいくつかあります。その6点について活性化ということで、大きな意味でご異議はないのかなと思っていますが、ご異議があれば仰っていただき、ご異議が無ければ6点の具体的な中身を肉付けするご発言をお願いしたいと思います。とりわけ公立幼稚園の委員は的確に現状も言っていただき、こういう活

委員	性化も望ましいのではないかということについて、ご意見を賜りたいと思います。
会長	6点についてよくわかりましたが、一番最初に仰った保幼小との連携と、幼児が人として育つということを基本としてと、この6点についてということですか。
委員	これからの活性化のための理念として、更に整理をするための提案をしてはどうかということですか。そのために6つの点があるということではなく、6点について議論する際に、その理念を活かして欲しいということですか。
委員	最初に二つ言われたことは、そういう理念でもってやるということですね。
委員	最後に仰った7点目についてですが、特色ある学校園ですので、幼稚園も入っています。
会長	わかりました。それについては、後ほど肉付けをお願いしたいと思います。それでは審議にあたりまして、まず最初に活性化のための6点について、これは省くべきだというご意見がありましたら、お願いします。
委員	省くとまでは言いませんが、6点目の統廃合等は、教育行政においてせざるを得ない状況にあれば、しょうがありませんが、廃園ありきが活性化ではないという確認をしておきたいと思います。
会長	そういうことも含めて、個性ある、特色ある幼稚園教育のあり方をむしろこの際、答申の中に入れてはどうかということ念頭において申し上げました。公立幼稚園の委員は後ほど具体的な発言をお願いします。
委員	認定子ども園についてですが、市町村が責任を負ってしている現行保育制度ですが、国が今の制度は子ども認定園になることによって、今の保育制度を崩す方向にあると思っていますので、保育園の立場からしますと、認定子ども園というものは、今現行の保育制度を崩していくことに繋がるので。
会長	私は色々な矛盾や問題点がないとは思っていません。しかし審議会としては、国として認定子ども園を推進してはどうかという一つの方向性が出され、制度としては動いていますので、活性化の一つの方策として考えた方がいいのかなということですか。
委員	保育園の代表という立場上、言わせていただきました。
会長	先程申し上げたように、お互いに利害を乱用して発言しているわけではなく、川西市の公立幼稚園の活性化のためにどうあるべきかという議論をしたときに、認定子ども園ということも一つの方策として考えられると。そのうえで、私立の保育園がそのことによってこういう被害を被るといふご発言はしていただいて結構かと思います。その対策について審議会としても考えなさいということであれば、それは議論すべきだと思いますし、ここで解決できるかどうかは別として、そういう考えです。
委員	幼稚園型の認定子ども園にするということが前提になると、確かに仰ることはよくわかります。ですから、取り込んでしまっただけで保育園型にするという形もありますから。
会長	例えばそういうご意見であれば、むしろ言っていた方がいいと思います。私は公立幼稚園を母体として考えていますので、幼稚園型のと言わざるを得ない。更にドラス

	<p>ティックに保育所型の認定子ども園にすべきだというのが良いのであれば、それは大いに議論する余地があると思います。</p>
<p>委員</p>	<p>前回も少し言いましたが、保育所の整備に関する懇話会でも、認定子ども園についてはかなり議論になりまして、現行の国が進めようとしている認定子ども園制度が、国が望むほど進んでいないのは、どういうところに問題があるのか、川西市でも進んでいないのは、川西市の実情に対して国が示している認定子ども園、幼稚園型にしても保育園型にしても、何故前に進まないのかということをもっとしっかりと検討すべきだと。実際に私達も情報としては聞くんですが、深く研究したこともありませんし、どういう問題があって、どういうメリットがあるのか、検討課題であると懇話会ではそういう意見になっています。積極的に認定子ども園を進めますという形で、審議会として提案するのか、検討の余地はあるけれども、考えていく方向でという形になるのかで全く違ってきますので。</p>
<p>委員</p>	<p>保育所と幼稚園のお互いが現場を知り合うとか、交流し合うとか、どういう形に進むにしてもまず制度ありきではなくて、どういう部分で幼稚園型の認定子ども園が必要なのかを煮詰めていって、子どもにとってそれがベストなのかという議論をもっと重ねて、答申に載せた方がいいのではないかと思います。現在、幼保の交流はやりつつありますが、制度的に難しいのではないかと。随分制度も違いますし、国の管轄も違いますので、しっかりと意見を交わす必要があると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>そういうことを配慮しながらやるべきだというのは、その通りだと思いますが、今議論しているのは、どこかの幼稚園が中間報告に基づいて廃園になったときに、それで終わっていいのですかということです。その際に委員が仰ったことを念頭において、消極的に廃園で終わるのではなくて、何らかの形で教育委員会が考えるときに、一つの方策、例としてとして幼稚園型の認定子ども園がありますよと言っているだけです。</p>
<p>委員</p>	<p>方策としてそれは考えればいいと思いますが、考えるにあたっては検討する期間が必要だろうということです。</p>
<p>会長</p>	<p>当然、実施するとなれば制度の見学も含めて、そういうことは必要だと思います。それでは、6点について特に省くべきものはないということで、細部について意見をいただきたいと思います。既に認定子ども園については議論が始まっていますので、そこから議論を開始するというだけでもいいと思います。</p>
<p>副会長</p>	<p>6点ある中で、園児募集というのがありますが、これはテクニカルなことになってくると思いますので、直接活性化に繋がる方策としてあげるよりは、先程会長が仰った、特色ある学校園教育の中で、どのように発信するか、どのように広報を活用していくかという話がでてくると思いますので、そこに含めた方がいいのではないのでしょうか。</p>
<p>会長</p>	<p>私としては、議論が錯綜しないように、前回まとめた6点の順番に沿って申し上げて、それに肉付けをしたということです。最終とりまとめの際に、副会長が言っていたい</p>

<p>委員</p>	<p>たことについて考慮したいと思います。</p> <p>それではまず認定子ども園について議論を行いたいと思います。</p> <p>先程も意見が出ましたが、公立保育所も同じように、認定子ども園について課題になっているところですので、保育所の整備計画を進めるうえで、それについて触れないわけにはいかないということがあります。川西市の現状として、国が進めようとしている認定保育園制度をそのまま持ってくるのが、活性化の大きな施策になるかどうか判断をするだけの判断材料を持っていない状況ですから、もう少し突っ込んだ検討や現状把握をしないと、認定子ども園制度を進めますというだけでは、子どものためにどういった保育形態が一番いいのかをお互いが詰めて、それが認定子ども園という結果であれば進めるべきですし、国がやろうとしている保育制度にそのまま乗っかることは、勉強不足ということもあるので、安易に踏み出せないなど。だからといって取り入れないということではなくて、まずはしっかりと研究、検討をしたうえで判断する必要があるのではということです。</p>
<p>会長</p>	<p>繰り返し申し上げますが、必要なことはたくさんあると思います。ですから例えばで結構です。その場合でも市民のニーズがそこにあるということを前提にして、もしそれがなければ活性化の方策に含める必要はないと思います。そういうニーズがあるとなれば、その応え方として議論をしていただければと思います。</p> <p>実際にこの中で認定子ども園を見学された方はおられますか。私は一カ所ですが、何度か見学に行ったことがあります。幼稚園がやっている認定子ども園のイメージが相当変わりました。昔は闇雲に反対でしたが。ですから委員からご指摘のように、関係者で研究や交流をする必要があるだろうと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>公立幼稚園としては、活性化の方法として子ども認定園ということは考えていません。何故かと言いますと、国が1000カ所程度を目標とした中で、実際には一割弱程度しか進んでいないということは、色々と課題があるんだろうと。身近にそういうことで活性化した、子どもにとっても良い施設だったという情報があれば、見学しようとは思いますが、今の保護者のニーズからすれば一番は3年保育です。その次に預かり保育ですが、幼児教育の一環としての預かりというものが、どうあるべきかを勉強していかないといけないということで、この夏休みに視察に行きました。しかしそのことについても今始めたばかりですので、もう少し勉強しないといけないという段階です。</p>
<p>委員</p>	<p>認定子ども園に関してですが、ここで議論している前提として、どこまで認定子ども園というものを推し進めるのか。ある条件の下で進める可能性を持つということを議論の前提にすべきだと思います。例えば、地域から公立幼稚園が統廃合でなくなるという可能性がありますよね、そうであれば地域から幼稚園がなくならないように、しかしその可能性というのは、中間答申の中で人数に関する事柄を出したわけですから。地域から幼稚園がなくなる可能性がでたときに、認定子ども園について積極的に検討する一つとして</p>

	<p>あげておくのか、何もなく認定子ども園が川西市として進めていくのか、どちらをとるかだと思います。先程会長が提起されたのは、前者だと思っています。地域から幼児教育の場がなくならないようにするために、認定子ども園というのを考えると。ただその場合は、検討する、学ぶ会を積極的につくっていくという、それに備えて見学であったり、交流会であったりをつくっていくというふうな方向性で、答申を出した方がいいと考えます。</p>
<p>会 長</p>	<p>根底にあるのは、統廃合されたときに、その利用をどうするかということを念頭においた時に、認定子ども園でないとなればどんな活性化が考えられるのかという提言をお願いしたい。提言のうちの一つに、認定子ども園ということが考えられると私は申し上げています。今のご発言を考えれば、それを進める際には市民のニーズ調査を行うこと、幼稚園の教員を中心とした、職員の学びを保障すること、他の部局との調整が必要だろうと思います。もし他に、廃園に伴う活性化の方策をご提言いただけるのであれば、この中に含めて、更にその一つとして認定子ども園というのを先程言ったような3つの条件は委員のご発言がありましたので、活性化の方策を答申する際には、それを参照してくださいという内容にしたいと思います。他にご意見はありませんか。(意見なし)</p> <p>それでは次に3歳児保育の議論に移りたいと思います。審議会としては、色々な市民の要望やニーズを委員として考慮していただけるとは思いますが、同時に川西市の幼稚園教育のあり様を考える全体的な立場から、発言をお願いしたいと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>3年保育については、今までにも何度か申し上げましたが、市民が公平に3年保育を受けられるようにという保護者の願いのもと、川西市としては私学との関係上、振興計画の24年度までは私立幼稚園に委ねるとなっていますが、この審議会の中で私学の委員からも、特に南部地区には無いということで、3年保育を実施したらどうかというご意見もありました。実施する方向で答申として出していただきたいと思っています。ただ3年保育を実施するにあたっては、財政面での課題等、今後考えなければならないことはたくさんあると思いますが、実施の方向で答申が出されることを強く望みます。</p>
<p>委 員</p>	<p>まず3年保育を実施されるということですが、お考えになっていることよりも研究と言いますか、研修期間がものすごく必要になるとは思います。簡単に、子どもにとって幸せだから3年保育をやるんだということでは駄目で、始めから疑問に思っているのは、活性化イコール3年保育というお考えと感じましたが、そうではなくて、今の2年保育の教育をどうしていくのかと、どうすれば保護者のニーズにかなうのか。会長が仰った、幼児が人として育つ、どうしていけば活性化になるのかが先だと思います。いきなり3年保育、人数が少ないから3年保育と、平等にやるんだということでは駄目だと思います。やるにしても、かなり時間を掛けて、幼稚園の中で、あるいは教育委員会の中での指導といったことが必要だと思います。2年保育と3年保育では全く違うんです。それなしにやりましょうというのは具合が悪いと。今までの議論の経過からして無理がある</p>

んじゃないかなと思います。2年保育をどう活性化するか、その議論がなされていないというのが一つ。

それと川西市が私立幼稚園を誘致したときは、公立は1年保育でした。2年保育を一つか二つだけやると、今回のように実験的にやるという話が、全園2年保育に一気に広がった経緯があります。またピーク時より25パーセント子どもが減るだろうと考えられています。今年も現に減っている。私立幼稚園の代表としては、経営面から考えて、今までの約束を守っていただきたいという思いがあります。1点目が教育内容、公立の先生は自信がおありだと思いますが、準備期間として何年かかるかというのが一つ。もう一つが今までの約束と違うのではないかと。減ってきたからといって、こういうことを持ち出されると私立幼稚園の経営も困るんだということです。

現に幼保連携より先に幼小連携も考えなければならない、非常に強い理念を会長がお持ちだったんですが、例えば幼稚園は興味関心に沿った活動をやっている、小学校にはいると時間割に沿った活動になっている。そこで一番貢献したのは平成元年に行われた生活科の設置です。生活科の設置が行われて幼稚園と小学校がかなりスムーズに行くようになったと思われていますが、川西市の小学校の現状は知りませんが、一般的に問題になっているのが小一プロブレムなんです。そういう形でやって、幼稚園と小学校が連携してないので小一プロブレム、机の上に乗って暴れたりするのがあると聞いています。公立は後伸び保育とはいえ、それは確かに良いことですが、小一プロブレムは何かどこか違うのではないか、幼稚園教育の中で何か問題点があるのではと思います。私の考えとしては、教員の意識を変えることが大事だと思います。子どもの表情を重視して、何を学んでいるかとか、何を経験しているかといったことが少し疎かになっていた部分があると思います。何を学んでいるか、何を経験しているかをかなり取り入れなければいけないと思います。それが強くなれば、学ばせるためにこう遊ばせるんだという形にもなりますが、それは弊害ですが、やはりそういったことを見つめてやっていかなければと。それには3歳の時からきっちりやらなければいけないんですが、2年保育で今の問題点、子どもの今の問題点を探って、浮き彫りにして小学校に送ることが、今度の教育課程で重要視されていますので、果たして現状で良いのかどうかをやってから、3年保育の議論をすべきだと思っています。

会 長

今の委員のご発言は、私が先程6点目でいくつか付け加えをしましたが、そういうことに沿った意見だと思います。それから委員の立場上言いにくいとは思いますが、今までの川西市の経緯を念頭におけば、私学への配慮を十分したうえで、3年保育という議論は行われるべきだと思います。その配慮のうちの一つが、色々な研究を慎重に重ねたうえで言うべきだということも、考慮すべきだと考えますし、要望書も地域を限定したうえで言うておられますので、本審議会とすれば全市的な実施も答申としては考えられますが、委員のご発言、要望書を重ねて考慮しますと、極めて限定的な形で、それを研究

	<p>のモデル、体験のモデルとしてやるべきではないかと思います。川西の私学が実際に3歳児保育をどのようにやっておられるのか私はわかりませんが、例えばある幼稚園では、3歳児はようやく自我が出来てきた年齢だという認識のもとで、部屋の設計においても畳を数枚保育室に敷いて、乳児室に近いような形になりますが、そういう検討をしておられるところもあります。それは子どもに対して責任を負う以上、3歳児保育はどうあるべきかということについて、自らの見識を作ったうえでやるべきだと思います。例えばそういう議論もあり得ると思いますし、3歳児の人数は30人でやるのか、私の知っている幼稚園では相当人数を制限しています。審議会で答申を出す以上、そういった見識が必要だと思います。併せて、これまでの2年保育がこれまでのままで良いのか、そういう議論もやるべきだと思います。いずれにしても3歳児保育についての今までの経緯からすれば、私学への十分な配慮を教育委員会としてもしていただき、そのうえで公立幼稚園の3年保育の限定的な実施については、考えられるのかなと思います。</p>
委 員	<p>公立幼稚園には園区がありますね。なお更どこで教育を受けるかというのが、選ぶのは基本的に親の権利だろうと。今南部で限定してという方向で話が進んでいますが、市民であれば同じ条件が、公立であれば本来はあるべきだと思いますが、それは諸条件があって満たされないということですね。それで、3年保育のモデル園という意味合いですが、これをする以上は園だけではなくて、市教委が研究指定園に指定して援助するとか、先生の意識を高めて。委員が仰った、それなりの成果をあげていくという覚悟でやらなければいけないだろうと思います。</p>
委 員	<p>誤解があってはいけないので言いますが、私立は一つにまとまって何かを決めたりはしないんです。ちらほら聞こえてくるところによると、2年保育のときに一つ二つがモデル園になるという議論になったんです。ところが蓋を開けると全部がなくなったと。こういう形で非常に警戒している人もいます。私個人はモデル園設置には反対の立場ですから、誤解のないようにお願いします。</p>
会 長	<p>委員の仰ることは理解したつもりですが、審議会の進め方としては、公立幼稚園の活性化の一つの方策として、3年保育を限定的且つ色々な条件を前提にしますが、実施する方向を考えると。</p>
委 員	<p>今、3年保育をやっても良いと言っているのではなくて、現在の2年保育の問題を浮き彫りにして、それを修正してから3年保育の形を出して欲しいという意見です。</p>
会 長	<p>私は、委員のこれまでのご発言で共感しているところは、私立幼稚園は親と相談しながら自己決定されていると。そういう点では公立幼稚園はどういう形で保育のあれこれを決定していくのかについて、これまでの経緯で色々な取り組みもあると思いますが、幼稚園と地域のあり方そのものの、一つの転換を考えても良いのかなと思ったりします。公立幼稚園の活性化としては、限定的な3年保育を行うことについて、4歳児保育のときと同じ事にならないように、審議会としては考慮したいと思います。</p>

<p>委員</p>	<p>また委員からご指摘があった点を純粹に考えれば、限定的ではなくて川西市として3歳児保育を何らかの形で保障するというふうに、審議会として出してもいいのではと思います。ただし、その際に私立幼稚園も含めて当然行われるべきでして、公立小学校の場合のように、公立幼稚園でそれを保障するとなると、あまりにも経緯から考えておかしくなると思います。本当は公立、私立ということではなくて、3歳児保育はどうあるべきかという更に深い議論が必要かなと思います。公立でやる場合、単に数を増やせばいいという単純な問題ではないという委員からのご発言もありますので、審議に含めて考えればどうかと思っています。</p> <p>3歳児保育については以上でよろしいでしょうか。(意見なし)</p> <p>続いて、地域との連携です。単に地域との連携と言うときに、親にどのような情報を流すのですかと。あるいは、色々な行事にどう協力してもらうんですかということではなくて、双方向でのメッセージのやりとりが、これまでになかったのかといえば、あったと思います。しかしこれまでのやり方だけではなくて、更に地域との連携の深まりを答申に盛り込みたいと思いますが、これについてご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>特に私学の委員から繰り返しご指摘があったのは、私学は相当親の要望を細かく聞いて、それを保育に取り込んでいるということでした。それは公立がやっていないということではないと思いますが、これまでの保育のあり様を考えたときに、もう少し工夫をしてはどうかと。単純に受け取ればそういうご発言かと思っています。</p> <p>公立幼稚園も親との連携はしています。学校園評議員制度を立ち上げています。関係者評価は立ち上げの準備中ですが、それに伴って評議員の方々に、学期に1回は来園していただき、それ以外にも園だよりや行事の案内をお送りし、来ていただいています。また参観日以外にも公開保育という形で来ていただき、保育の感想や親の姿、子どもの姿、教師の姿、そういう評価もしていただいています。評価いただいたものは公表していません。保護者からの悩み、相談、クレーム、些細なことでも顔を合わせたときに話をしたりしています。</p> <p>それと公立幼稚園はPRが下手だと思っていますので、地域の方に知らせるために今年度よりホームページも立ち上げたり、行事の際には感想カードを提出していただき、親の要望、子どもの気になる点など、書かれた内容についてしっかりと対応できるようにしています。もちろんそれで十分だとは思っていませんので、資質向上のため先進地の視察、市内での交流など取り組んでいます。</p> <p>また3年保育については、平成5年に2年保育を立ち上げたときに、3年保育の検討委員会も立ち上げて、教育課程を作らないといけないということで、紙の上での勉強はしていますが、実際に保育をしたことはありませんので、私学に教えていただくこともあるかと思っています。そういう面ではまだまだ勉強しないといけないことがあると思っています。</p>
-----------	--

<p>委員</p>	<p>私学は経営がそれぞれ違うんです。ですから一概に親との連携に取り組んでいるとか、そういうことではないんです。幼稚園によって随分違います。園長の考え方がすぐに反映するんです。公立幼稚園は園長のまとまりがあると思いますので、こういう方向でいきましょうというのはある程度あると思いますが、私の園で言えば、親の要望を聞くといっても、何でもかんでも聞くわけではなくて、親は今こう思っているんだと、ちょっとのことでも親の考えはこうなんだということを園長が掴んでいるのが大事なんです。それを否定するのではなくて、何とかならないのかという気持ちを常に持っています。園としては教育内容には口出しをしないでくれと、私はこういう教育内容でやりますと。極端に言えば、それが嫌なら他に行ってくださいと。そういう面ではシビアですが、親が何か言いたいのではないか、子どもを預けるから言わないでおこう、そんな感覚を親に与えるのは論外ですが。何でもかんでも親の要望を聞いているわけではありません。親の立場に立って、今こうして欲しいということを掴んでいるのが大事なんです。また少し前に申し上げた、教職員の意識改革、どこか意識を改革する点はないのかということが、園長指導のもと考えることが出来れば、良い幼稚園になって、活性化すると思います。そういう意識がなければ、うちもやってますという発言になって、この会が意味のないものになると思います。</p>
<p>会長</p>	<p>私からのお願いですが、地域との連携ということで、委員が発言されたように、色々なことをやっておられると思います。そのやっておられることについて、教育委員会にあるいは個別の園長会として、こういうことをやってますよという現状を整理していただいて、それをどこかで発表していただくというのはどうでしょうか。よくわからないことがどうしてもあって、審議会として地域との連携について方策を出す際に、現にやっていることを整理していただき、それについて更に発展させるべきことは何かというふうにまとめたいなと思います。一般的に地域との連携を発展させるべきだといくら言っても、それはしようがないので、具体論を議論したいと。委員のご発言は大切なことをいくつも言っておられると思います。例えば園でやっている評議会の議論は、今年はこの事を取り組んだ、08年度からはこういうことをやった、09年度ではこういうことを課題にしているとか、一覧表にして市民に、親に配られているのでしょうか。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>それは配っていません。 外から言えばわからないんです。何となく耳にはするけれども詳しくはわからない。公立というのは、それはオープンにして、こういうことをやっていますよ、どうぞ批判のある方、要望のある方は言ってきてくださいというふうに、これからの時代はあるべきではないかと思います。そういう点では、地域との連携というところでも、今こういう形でやっていますよという整理をしていただいて、参考資料で結構ですから是非作っていただければと思います。出来れば更に、こういう改善はやりたいと、むしろ仰っていただいたらいいと思います。それは財政上出来ないとかあるかも知れませんが、そ</p>

	<p>れは話をすればいいわけですから、審議会では自由にご発言いただいて、川西の幼稚園教育が前に進むように、ご提言いただきたいと思います。</p> <p>先程の発言で気になったのは、親がかなりオープンに幼稚園に入り込んでいる幼稚園は、知っている限りでは大変少ないです。そういうことをやっておられるのであれば、例えば親が学んだこと、保育者が学んだこと、両方あると思います。そういうことを整理して出されれば、良くするための競争はやればいいので、データを出してもらえれば、議論も発展しやすいと思います。</p>
委 員	<p>会長が仰るのはその通りだと思います。ただ一つだけ、親というのは感性が先なんです。ものが配られて、それを読んで、評議員が何人いてどういう意見があったかなんて、そんなものは全然知りたくないんです。うちの子どもはどうなってるんだと、幼稚園はこういう形だからうちの子は伸びるのか、伸びないのか、あるいはこう変えて欲しい。そういうことが先で、それを察知するのが園長の役割だと思います。確かにそういうことも必要だと思いますが、もっと活性化するためにこういうことをやってますとか、地域との連携を深めているとか、そういうものよりも、親との感性に合った連携というか、そういったことの方が望まれていると、私は経験からそう思います。</p>
会 長	<p>他に地域との連携でご意見があればお願いします。(意見なし)</p> <p>それでは続いて園児募集のあり方についてお願いします。</p>
委 員	<p>前回申し上げたのは、募集について公立幼稚園は、今までのいきさつから色々と縛りがありまして、そのことについて少しずつは緩くなっているんですが、今こうして新たに審議会で公立幼稚園のことを考えていただく場ですので、募集についてもはっきりさせればいいのではと思っています。例えば広報で公立、私立の募集を一緒に載せている市もありますので、広報紙と一緒に載せるのも一つではないかと申し上げました。</p>
委 員	<p>縛りというのは、どこから縛られてるんですかね。私学ですか。</p>
委 員	<p>教育委員会から募集方法についてお聞きして、その通りにしています。</p>
委 員	<p>私学の募集について言いますと、9月10日からポスターを貼っても良いことになっています。大きさも規制されています。枚数については規制がありませんので、自由にやっています。それはそれでいいんですが、縛りが私学であるということは、全くないと思います。ポスターをあちらこちらに貼ったからといって、園児はそんなに増えないですよ。同じ市民だから載せたらという意見もありましたが、私はややこしいので載せてもらわなくていいです。市の方が載せようと思われるのなら、載せてもらってもいいですが、私学の現状とすれば、川西、猪名川で10園あるんです。新聞広告は9園まで入っていると思います。私のところは入れてません。お金の無駄だと思うので入れてなくて、自分の教育をきちんとすれば、広告なんて関係ないです。それは活性化に繋がらないと思います。</p>
会 長	<p>今の件について、事務局の方で現状どうなっているか、掴んでいる範囲でお願いします。</p>

事務局	<p>公立幼稚園の園児募集については、毎年、市の広報紙に掲載しています。昨年は9月15日号、今年度は今年の8月から広報紙が月1回になりましたので、9月1日号に掲載しています。過去からの縛りについては具体的に掘っていませんが、ポスターの掲示は園内に限定しています。それが過去の私学との約束なのか、公立が自粛していたのか定かではありません。それから私学の園児募集について、広報紙に掲載可能かどうかは現在広報担当に照会しているところですので、後日報告したいと思います。他市では一緒に掲載しているところもあるようです。</p>
会長 委員	<p>単純にお聞きしますが、園児募集に関してこうすべきだという縛りはあるんですね。ポスターの掲示については園内にと委員会から言われています。</p>
会長 委員	<p>一般論で言えば、出来る限り自由であることが望ましいと思います。 心配なのは、自由になったときに公立の中で規制されないか、それが活性化とは反対の方向にいきますので。今でも公立の園長が集まって、こうしましょうと決められますが、私はそれは賛成できないんです。一つ一つの園の特色があるでしょうから、園長の権限を全面に出された方がいいと思います。</p>
委員	<p>保育所とは事情が違うので、民間保育所を一概に幼稚園に当てはめられないとは思いますが、川西市に転入された方が、広く情報提供を求められて窓口に来られますが、市内の保育所がどこにあって、民間園がどこにあって、無認可がこういうところにありますよという説明を保育課の窓口でするようにしていますが、教育委員会では公立に限らずこういう施設があるという情報提供はされてるのでしょうか。</p>
事務局 会長	<p>窓口では公立、私立ともに案内しています。一覧になった用紙を渡しています。 保育所と基本的に違うのは、ある程度園児の割り振りについて、保育課が責任を負っている仕組みになっています、それを止めようという議論もありますが。そういう点では、幼稚園の事情と保育所の事情とは随分違うなど。保育所的なやり方を幼稚園もやるというのも、あってもいいのかなと思ったりしますが。それでは4点目については、情報提供を教育委員会や園長会からしていただいて議論をし、最終答申に入れるのか入れないのか、検討したいと思います。 5点目の認定子ども園については先程議論しましたので、省略します。最後、統廃合を含めたいくつかの活性化の方向ということで、先程何点か申し上げましたが、それについて、あるいはこれを入れたらどうかということがあれば、ご発言をお願いします。 例えば特色ある幼稚園のあり様、幼稚園から発信していただくこと、それについて親から意見が言える機会をつくること、その場が幼稚園の評議会、既にやっておられるところで、そういう議論がされているのであれば、大変大きな成果だと思います。また、そのために幼稚園をオープンにして、親がいつでも参加し、意見が言えるということを考えても良いのかなと思います。更にレジジョ・エミリアという、今一番はやっている保育では、単に見学者として幼稚園に親が来るだけではなく、実際に自分が保育者とし</p>

	<p>でも、一緒にやるなかで学んでいくという親の学びを保障するということをやっています。そういうことが地域との連携という中でやっておられるのかどうかわかりませんが、少なくともオープンにするというだけでも、大変な決断だと思っています。そういう良い側面を活性化の中で考えていただきたいと思います。</p> <p>また、理念のところでも申し上げましたが、幼小の接続、現実には保幼小の接続という問題は、活性化のかなり重要な視点だと思っています。それも実際に公立幼稚園でやっていると思いますので、現状の取り組み等について、お願いできるのであれば、整理のうえ審議会でご報告いただければ、ありがたいと思っています。その他、統廃合が視野にありますが、この際活性化のためにこういう政策をとるべきだというご意見があれば、お願いしたいと思います。</p>
副会長	預かり保育についての議論がまだかと。
会長	預かり保育についてのご意見をお願いします。今川西市は預かり保育は、全くやっていないんですか。
委員	私立は一つ、二つを除いて、ほとんどがやっています。
会長	実際に要望はあるんですか。
委員	それは強いですよ。最近は共働きが多いですから。
会長	公立幼稚園としては、そういう要望はありますか、それともあまりありませんか。
委員	3年保育の要望を聞いたときに、その他の意見として預かり保育の要望はありました。今後考える必要があるだろうということで、勉強中です。この夏休みに茨木市に視察に行きました。
会長	なぜ茨木市を選ばれたんですか。
委員	園長と視察先の日程が合ったのがそこでしたので。
会長	兵庫県で預かり保育を実施しているところはどれくらいありますか。
事務局	県内29市の調査では、全部の園で実施しているのが4市、一部の園で実施しているのは9市です。
委員	公立はお金を取ってはいけないんですか。
事務局	県内で実施している市では、徴収されてます。
会長	預かり保育は幼稚園で大きな責任を負いますが、具体的な仕事は別に人を雇ってやってもらうというパターンが一番多いと思います。市によって若干違うと思いますが、費用の一部を親が負担すると。大阪市の例で言いますと、そんなにたくさん預かり保育で、全員の子どもが残るということではありません。私の印象では園児の三分の一ぐらいではないかと、もう少し少ないかもしれません。
委員	例えば月、水、金でもパートに出るとかできますから、そうなると大分変わってくるので、お金を払ってでも預かって欲しいという人が、出てくるんじゃないでしょうか。
会長	利用する側から言えば、少し中途半端にならざるを得ないので、実際には祖父母が手伝

委員	<p>われるケースが多いのかなと。抜本的にやるのも一つかなとは思いますが。</p> <p>7時までやっているところもあるようです。うちは6時までですが、1日預かり、定期預かり、両方やってます。それに合わせた仕事をされているようですので、あるかないかで大分違うと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました、それでは全般にわたってご意見があれば、お願いします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>特になければ、今日確認したことを土台として、最終答申の素案を作りたいと思います。学識経験者が3名いますので、この3人で文章化していきたいと思いますが、私の希望としては、例えば3歳児保育については、強くご発言された公立幼稚園の委員で原案を作ってください、もしくは私学の委員もご意見としては相当ありましたので、そちらで原案を作っていただいても結構ですが。1次のとりまとめについては、川西に直接関わっている各委員で、ある程度分担していただきたいと思っています。もしくは、これまでの経緯を念頭において、学識経験者でまとめたものを各委員に見ていただいて、修正していくというやり方もあります。</p>
委員	<p>どちらが1次のとりまとめをするかに関わらず、次回の審議会で素案が示されるんですね。</p>
会長	<p>そうです。次回が最後の審議会になりますのでその予定です。</p>
委員	<p>公立の委員としてかなりご意向をお持ちのようですから、それが出来るだけ反映できるやり方であればいいかと。</p>
委員	<p>公立の委員としては、中間答申のときにあと1行入れて欲しかったという思いもありましたので、学識経験者の方に作っていただいたものに、我々の意見を入れていただければと。</p>
会長	<p>中間答申のときは、経過上仕方なく会長一任という形をとりましたが、最終答申は審議会で決めますので、そこで意見を仰らなければ仕方ありませんが、今はそのために原案をどう作るかという話です。</p>
委員	<p>委員からたくさん意見がでて、一番冷静に、客観的に見る事が出来るのは、学識経験者の方だと思いますので、お願いできればと思います。</p>
会長	<p>それでは、細かいニュアンスについては次回検討するとして、素案としては学識経験者の方でまとめていただきます。その際に、川西の子どもがより幸せで発展的な状況をどう作るか、そのための幼児教育はどうあるべきか、そのあたりもう少し言葉を選んで整理したいと思います。また公立幼稚園では、地域との連携で色々な取り組みをされているようですが、必ずしも共有できていませんので、今やっておられる取り組みを出来るだけ分かり易く、ご提供いただけたらと思います。</p> <p>日程的には、本日は10月19日ですので今月末頃を目途にということになると思います。逆に言えば、今月末を目途に出来るものについては、ご尽力いただきたいと思います。</p>

<p>す。次回は11月16日ですので、遅くとも1週間前には成案を教育委員会を通して、皆さんのお手元にお渡しするということが、是非修正案があれば色々とお出しを、特に大きな観点で抜けていることがあるのではないかと危惧していますので、教育委員会事務局まで、もしあればお願いします。</p> <p>最後になりますが、11月4日に会長、副会長で幼稚園の視察を行います。各委員で時間がとれる方は参加していただければ結構ですので、教育委員会に連絡をお願いします。長時間でしたが大変熱心にご審議いただきまして、大きな方向は見えたのかなと思います。ご協力ありがとうございました。また意見陳述していただきありがとうございました。以上で本日の審議会を終わりたいと思います。</p>
---

※ 主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。